

作成日 平成20年12月9日

経営事項審査分析書

株式会社 須田建設 様
審査基準日：平成20年03月31日

須田幸英行政書士事務所

〒959-2012
新潟県阿賀野市天神堂352番地2
TEL：0250-63-9782
FAX：0250-63-9270

<<入力データ一覧表 Y>>

株式会社 須田建設

入力結果 Y

営業キャッシュ・フローの入力明細 自動計算：する

項目 (Y算出用)	入力値
【貸借対照表】	
固定資産	186,955 千円
負債合計	434,541 千円
利益剰余金	411,677 千円
自己資本	429,677 千円
総資本(当期)	864,218 千円
総資本(前期)	903,435 千円
【損益計算書】	
売上高	1,198,987 千円
売上総利益	100,303 千円
受取利息配当金	5,607 千円
支払利息	4,723 千円
経常利益(事業主利益)	16,611 千円
【その他】	
営業キャッシュ・フロー(当期)	54,627 千円
営業キャッシュ・フロー(前期)	-36,229 千円
新設会社の処理	なし

項目	前々期	前期	当期	計算項目	前期計算結果	当期計算結果
経常利益(事業主利益)	-----	15,336	16,611	経常利益(事業主利益)	15,336	16,611
減価償却実施額	-----	8,136	15,784	減価償却費	8,136	15,784
法人税住民税及び事業税	-----	4,671	11,631	法人税住民税及び事業税	-4,671	-11,631
引当金合計	5,532	4,940	4,023	引当金増額	-592	-917
受取手形	0	0	0	売掛債権減額	215,580	-14,656
完成工事未収入金	305,722	90,142	104,798			
支払手形	10,818	1,620	2,610	仕入債務増額	-103,847	33,608
工事未払金	156,747	62,098	94,716			
未成工事支出金	283,506	147,179	115,718	棚卸資産減額	136,327	31,461
材料貯蔵品	0	0	0			
未成工事受入金	463,958	161,460	145,827	受入金増額	-302,498	-15,633
				営業キャッシュ・フロー	-36,229	54,627

(金額の単位：千円)

＜＜Y（経営状況分析）の試算表＞＞

株式会社 須田建設

審査項目	審査項目の実数値	最高点/最低点	数値	評価	目標評価に対する参考値
負債抵抗力	①純支払利息比率 $\frac{4,723 - 5,607}{1,198,987} \times 100$	-0.3 5.1	-0.074	大変良い	
	②負債回転期間 $\frac{434,541}{1,198,987 \div 12}$	0.9 18.0	4.349	やや良い	
	評 点 $-0.465 \times \text{①} - 0.0508 \times \text{②}$	—————	-0.1865192	大変良い	
収益性・効率性	③総資本売上総利益率 $\frac{100,303}{(903,435 + 864,218) \div 2} \times 100$	63.6 6.5	11.349	大変悪い	
	④売上高経常利益率 $\frac{16,611}{1,198,987} \times 100$	5.1 -8.5	1.385	やや良い	
	評 点 $0.0264 \times \text{③} + 0.0277 \times \text{④}$	—————	0.3379781	やや悪い	
財務健全性	⑤自己資本対固定資産比率 $\frac{429,677}{186,955} \times 100$	350 -76.5	229.829	やや良い	
	⑥自己資本比率 $\frac{429,677}{864,218} \times 100$	68.5 -68.6	49.719	大変良い	
	評 点 $0.0011 \times \text{⑤} + 0.0089 \times \text{⑥}$	—————	0.695311	大変良い	
絶対的力量	⑦営業キャッシュフロー $\frac{(-36,229 + 54,627) \div 2}{100,000}$	15.0 -10.0	0.092	普通	
	⑧利益剰余金 $\frac{411,677}{100,000}$	100.0 -3.0	4.117	大変悪い	
	評 点 $0.0818 \times \text{⑦} + 0.0172 \times \text{⑧}$	—————	0.078338	やや悪い	
Y（経営状況分析点）の点数	(負債抵抗力の評点 + 収益性・効率性の評点 + 財務健全性の評点 + 絶対的力量の評点 + 0.1906) × 167.3 + 583	—————	770	(参考：経営状況点数(A) = 1.12)	

(金額の単位：千円)

＜＜経審総合評点Pの試算表＞＞

株式会社 須田建設

建設工事の種類	P点	完成工事高				X1	元請高					技術職員数						Z
		前々期	前期	当期	年間平均		前々期	前期	当期	年間平均	点数	1級	講習	基幹	2級	他	点数	
10 土木	938	934,352	1,477,942	1,177,830	1,196,708	1026	934,352	1,435,322	1,147,590	1,172,421	1101	10	0	0	5	2	998	1018
11 (フレズ)	637	0	0	0	0	390	0	0	0	0	210	0	0	0	0	0	510	450
50 とび	769	72,322	132,758	20,581	75,220	670	72,322	71,782	20,581	54,895	657	2	0	0	3	0	709	698
51 (法面)	637	0	0	0	0	390	0	0	0	0	210	0	0	0	0	0	510	450
90 管	665	56	0	576	211	392	56	0	576	211	216	1	0	0	2	2	647	560
その他		0	0	0	0													
合計		1,006,730	1,610,700	1,198,987	1,272,139													

(金額の単位：千円，人数の単位：人)

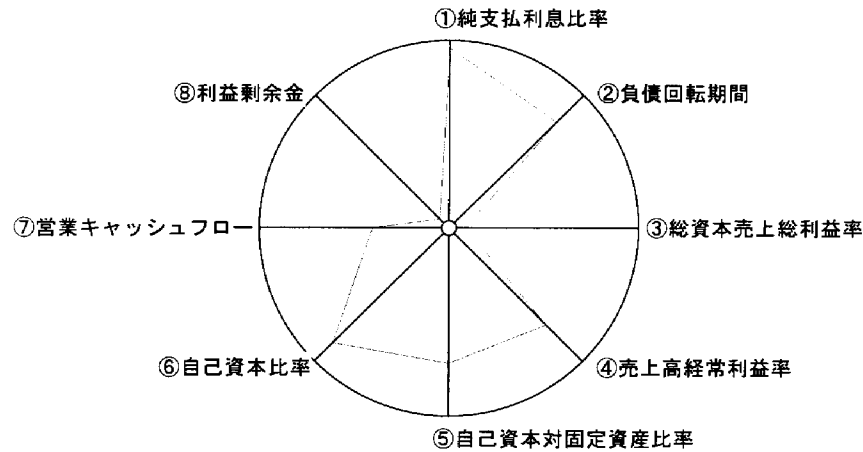
項目	入力値
法人/個人の種別	法人
計算方式	平成20年4月法改正
完成工事高・元請高の激変緩和	3年平均
自己資本額の激変緩和	2年平均

審査項目	数値	評点
X 2 1 自己資本額 (平均)	427,629千円	833 点
X 2 2 利益額 (平均)	18,151千円	644 点
X 2 の点数		738 点
Y の点数		770 点

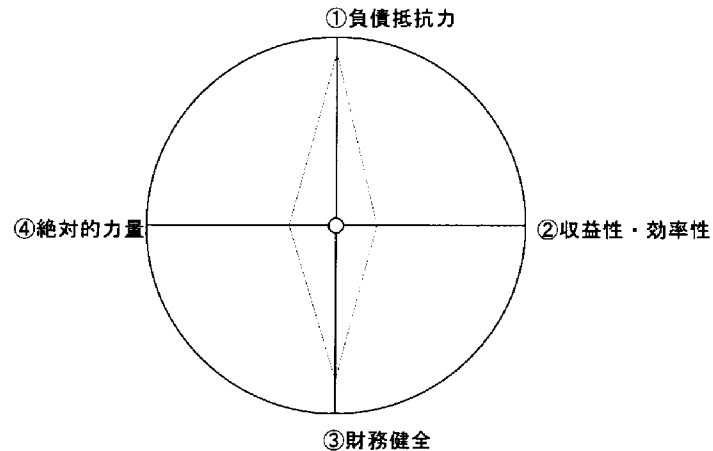
審査項目	評点
W 1 (労働福祉の状況)	45 点
W 2 (建設業の営業年数)	44 点
W 3 (防災活動への貢献の状況)	15 点
W 4 (法令順守状況)	0 点
W 5 (建設業の経理の状況)	4 点
W 6 (研究開発の状況)	0 点
W の点数	1080 点

貴社のY(経営状況分析)のレーダーチャート

【8指標】



【4指標】



総合診断

株式会社 須田建設

(ア) 自己資本額について
充分とはいえません。自己資本の充実(決算期内での増資・利益の確保)を当面の課題にすべきでしょう。この点は、他社も同様に力を入れてくる場所ですので、常に上を目指していく心構えが必要です。自己資本はX2とYの2箇所に反映される重要な項目です。

(イ) 利益額について
低いものと判断されます。営業利益の向上に多大なる努力をしてください。

(ウ) 経営状況分析点数(Y)について
平均的であると判断します。これは、貴社の財務内容が、平均的であるということです。下記の診断結果をもとに更なる向上を目指して下さい。

・負債抵抗力
大変良いです。引き続き、売上高の向上・負債の減少に努めて下さい。

・収益性・効率性
やや悪いです。工事原価・販売費及び一般管理費の見直しをして、当面は売上総利益の向上に努めて下さい。

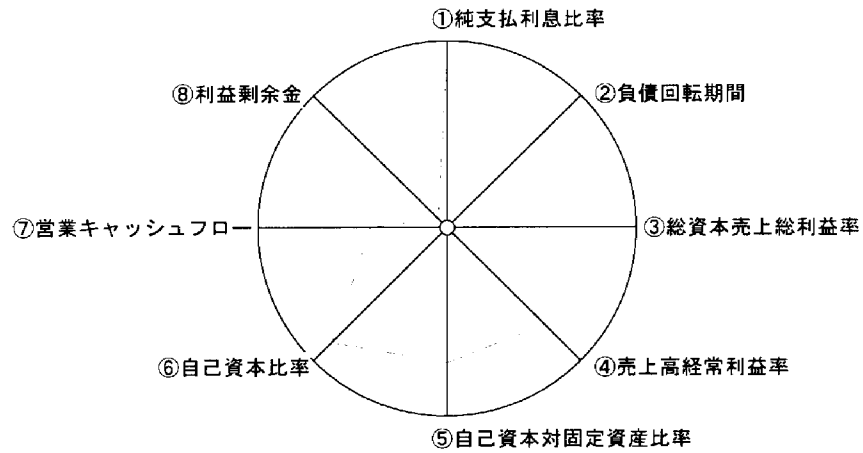
・財務健全
大変良いです。引き続き自己資本の充実に努めて下さい。固定資産を多く抱えている場合は、固定資産を売却・処分し、固定資産を減少させることが今後の検討課題となる可能性もあります。

・絶対的力
やや悪いです。利益剰余金や経常利益の向上に努めて下さい。売掛債権の回収や棚卸資産の減少も検討して下さい。

(エ) 技術職員について
国家資格者(特に一級技術者)の充実に力を入れることは、常に必要です。社内職員の資格取得に力を入れるとともに、優秀な国家資格者の雇用も日頃から考えておく必要があります。

Y (経営状況分析)のレーダーチャート(実数値)

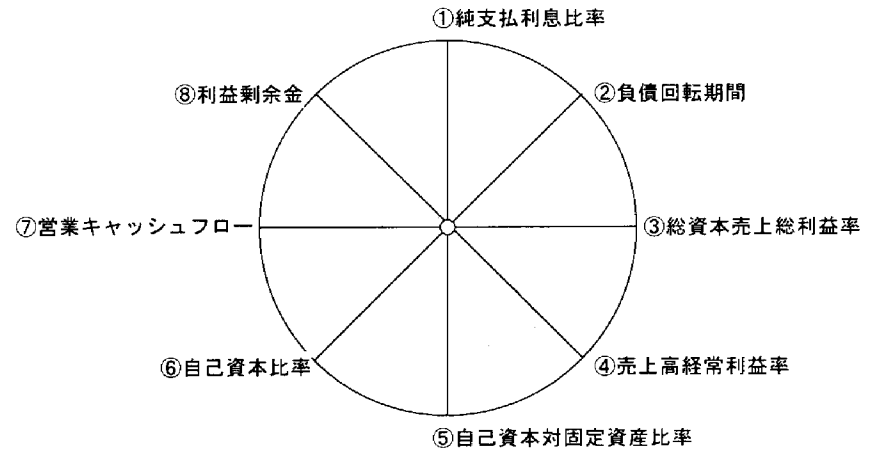
【8指標】



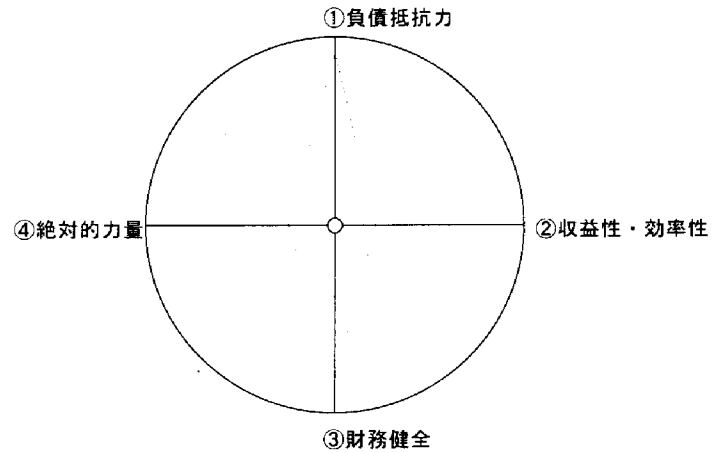
Y (経営状況分析)のレーダーチャート(想定値)

【8指標】

株式会社 須田建設
シミュレーション番号:1



【4指標】



【4指標】

